



# 雨漏りが激しい家を建て直すことが出来ました



ドゥアン・プラティープ財団本部からほど近いクロントイスラムにある粗末な家屋で、雨が降れば雨漏りが激しくなって身の置き所がないガンチョンさんの住まいが、オーサントリーストラリアのボランティア団体の支援で建て替えることになり、10月12日から工事が始まりました。

このNGOは「プラグマティック・シンキング・オーガナイゼーション」(PTO)で建設関係などで働く人々が参加しています。今回対象になったのは縦3メートル、横4メートルほどの一部屋だけのトタン葺き家屋で、すでに30年を越え、特に雨季の激しい大雨に難渋しています。高床式で床の下にトイレがありますが、トイレに電気はなく、夜は真っ暗。雨水もたまります。

PTOのメンバー代表が12日に現場を訪れ、解体作業を手伝いましたが、新しい住まいには安心できるトイレも備えることにしています。

